

筑波大学学際物質科学戦略イニシアティブ研究会  
「スピントロニクスをめぐるあたらしい物理現象と魅力的な材料」

日 時：2009年3月2日（月）13:30～3日（火）12:00

場 所：筑波大学計算科学センター ワークショップ室

参加費：無料

懇親会：3月2日 17:30～

参加希望者は、[yanagiha@bk.tsukuba.ac.jp](mailto:yanagiha@bk.tsukuba.ac.jp)までご連絡ください。

問い合わせ：筑波大学物理工学系 柳原英人

(029-853-5301、[yanagiha@bk.tsukuba.ac.jp](mailto:yanagiha@bk.tsukuba.ac.jp))

\*駐車場が必要な方も事前にご連絡ください。

新たな物理現象が次々と見いだされ、また新奇な材料・素子構造が様々に提案されているスピントロニクス研究の最前線に関する研究会を開催します。本研究会では、その物理から材料科学まで、スピントロニクスに関わる様々な分野でご活躍されている講師の方をお招きし最新的话题をご提供いただきます。参加者のスピントロニクスの理解を深めると共にその展望についても活発に議論できる場になればと考えております。この分野で研究をされておられる専門家の方のみならず、スピントロニクスにご興味お持ちになっておられる方のご参加をお待ちしております。

### プログラム

2009年3月2日 13:30～17:30

13:30-13:40 大塚洋一（筑波大）「はじめに」

13:40-14:25 福島章雄（産総研）「スピンドイス（スピン注入磁化反転を用いた乱数発生器）」

14:25-15:10 末益 崇（筑波大）「Si系磁性化合物のスピントロニクスへの応用」

15:10-15:30 休憩

15:30-16:00 後藤秀徳（筑波大）「グラフェン多層膜におけるスピン伝導」

16:00-16:45 草部浩一（阪大）「埋め込み型グラフェン・エッジ状態の理論」

16:45-17:30 齊藤英治（慶大）「スピンホール効果とスピンゼーベック効果」

17:30- 懇親会

2009年3月3日 9:00～12:00

9:00-9:45 久保田均（産総研）「スピン注入トルク」

9:45-10:30 谷山智康（東工大）「磁性体・半導体・誘電体ヘテロ構造系におけるスピン注入、スピン検出、スピン操作」

10:30-11:15 高柳英明（東理大,MANA/NIMS）「超伝導体・磁性体結合構造における量子効果」

11:15-12:00 岡林 潤（東工大）「強磁性半導体多層構造を用いたスピン注入磁化反転」

オーガナイザ：大塚洋一、神田晶申、黒田真司、柳原英人